

1. この会社が目指す姿が理解できるか

理解できる。

「世界の人々に新たな感動と豊かな生活を提供する」という目標を掲げていてその目標達成のために課題や課題に対するA R Tなどの取り組みを詳しく挙げており数値も用いているのでわかりやすい。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

A R Tの実践などヤマハ発動機の様々な取り組みをしていることがわかりそこが強みなのだと思うので理解できるがより優位性を示すために同業の他社との比較をしてほしい。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

気候変動やS D G sなどこれから対応しなければならないことへ対応していて、カーボンニュートラルに向けたL M W次世代モビリティの開発をしており未来のヤマハ発動機を考えて行動に移していると感じた。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

達成できると思う。

ヤマハ発動機は人材育成において、チャレンジ精神を基本的な考えとしていてそこにはグローバル化に備えて女性活躍促進や英語能力の昇格要件化、社員の英語能力強化の研修を設けている。私はヤマハ発動機はグローバル化について行けると思う。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

ヤマハ発動機はいくつか改善があると思う。一つ目は文章の文字が小さいことだ。私が思うに文字が小さくて肝心な内容が伝わりにくいのではないだろうか。二つ目は文が多すぎる事だ。もう少しグラフや写真を多く使うことで我々がもっとヤマハ発動機の取り組みを理解できると思う。